

数字で見る、上下水道の取り組み

# 災害時、上下水道を守る対策



小中学校78校に

熊本市内  
マンホール  
トイレの  
整備数

# 390基

※令和5年度末時点



～国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」受賞～

## マンホールトイレの整備

熊本市では、災害時に避難所や防災拠点でのトイレ確保を考慮し、マンホールトイレの整備を進めています。具体的には、市内の小中学校や防災拠点のうち、下水道区域にある施設を対象に設置しています。これにより、断水時にもトイレの確保がスムーズに行えるようになっています。



## いざというとき困らないために

平成28年の熊本地震から8年。

熊本市では、上下水道施設の耐震化やマンホールトイレの整備など、ライフラインとして重要な施設の防災対策を進めています。ご家庭でもできる災害への備えとして、飲み水の備蓄や生活用水の確保、簡易トイレの準備等を再確認しましょう。

～断水時に4㎡の水道水を確保～

## 貯水機能付給水管の整備

貯水機能付給水管は、平時は通常の給水管ですが、地震等災害の断水時はタンクの容量分4㎡の水道水が確保され非常用の飲料水として利用できます。



熊本市上下水道局前の貯水機能付給水管

熊本市内の小中学校に

※令和5年度末時点  
**47基を整備**

マンホールトイレ・貯水機能付給水管がある避難場所はこちら



もしもに備えて

## 飲み水などの備蓄を！



1人1日3リットル



家族の人数



飲料水は、大人で1日あたり3リットルが必要とされています。3リットル×家族の人数×3日分を目安に飲み水の備蓄をおすすめします。

その他にも…

- お風呂の残り湯も普段からため置きをしておく、断水時のトイレの水などに役立ちます。
- 防災グッズの中に折りたたみ式の水タンクなどの容器があると便利です。
- トイレの備えも重要です。段ボール製の非常用トイレ等が市販されています。



## 令和6年 能登半島地震への支援について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、多数の死傷者が出るなど甚大な被害となっており、お亡くなりになりました方に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。本市では、被災地に対する支援を行ってまいります。



詳しくはこちら